



第47号

はくぶつかんネット

平成25年度4～6月号 (宜野湾市立博物館発行)



平成25年度が始まりました。今回の「はくぶつかんネット」では、今年度行われる企画展や講座の紹介に加え、博物館の新しい職員を紹介します！

開催中の企画展もありますので、ぜひご見学にいらしてください。職員一同、みなさまのご来館を心よりお待ちしております。

新収蔵品展 ～平成23・24年度受入れ資料～

ただ今
開催中♪

- 期 間：5月22日(水)～6月9日(日)
- 場 所：宜野湾市立博物館
- 時 間：午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)
- 入場料：無料



「新収蔵品展—平成23・24年度受入れ資料—」では、平成23・24年度に市民の方々から寄贈・寄託していただいた資料50点を新収蔵品として登録し、皆さまにご紹介しています。

この展示会を通して、来館者の方々に博物館の活動(収集・保管・展示公開)に対する理解を深めて頂きたいと思っています。また、資料を寄贈していただいた皆さまに感謝の意を表すると共に、今後も数多くの資料を博物館の収蔵品として寄贈して頂く機会になればと思っています。

展示会では、解説やエピソード等を交えながら紹介しています。企画展終了後は、収蔵庫に保管されることとなりますので、この機会にぜひご覧ください。

■平成23・24年度受入れ収蔵品一覧 ~ご提供ありがとうございました~

ワクダカマド	バサージン(大人用)	美ら島沖縄総体2010のぼり(卓球)
印部石(ツ まつ川原)	クンジー(大人用)	若夏国体サージ
カーミ	海邦国体役員の帽子	ヤナギコウリ
パーキ	海邦国体で使用するためのゴミ袋	ジーファー
ソーミナークー	海邦国体のお盆	分銅(ハカイのおもり)
トゥジャ	海邦国体のフローチ	竹とんぼ
トートーメー	米軍ランブ	大謝名獅子 ※寄託
喜友名村 新里前とよ(レコード)	はかり(ハカイ)	コート
ハガマ(フタ付き)	貝符のレプリカ	美研コミックシリーズ1「魔法使いサリー」
ナービ	石臼(イシウーシ)	美研世界名作童話8「ジャックと豆の木」
チョウパン	モノサン	宜野湾市市制50周年記念横断幕
バサージン(子供用)	美ら島沖縄総体2010のぼり (アーチェリー)	合計: 50点

収蔵品の思い出ぼなし



数ある資料の中から
エピソードを一部紹介するよ♪

ワクダカマド

1960年頃、那覇の市場で購入した。価格は正確には覚えていないが、高かったと思う。購入した後は日常的に使用するのではなく、冠婚葬祭のときに、大なべから汁物を小さな鍋に移して、ワクダカマドで温めていました。ワクダカマドの薪にはガジュマルをよく利用していました。



はかり(ハカイ)

山羊や豚、子牛を計るときに使用したものの。部落の人が集まって使用しており、その様子を子供たちは遠くから見ていた。近隣の部落の人にも貸した記憶がある。



大謝名獅子 ※寄託

大謝名獅子舞保存会から、当館へ寄託された獅子。戦後、1976(昭和51)年に復活した際のもので、2009(平成21)年に作り替えられるまでの33年間、大謝名を護ってきました。



~ 寄贈品募集 ♪ ~

今では使われなくなった終戦直後の農機具や生活用品、その他写真や書類、地図など博物館にとっては貴重な資料になることがあります。一度、お問合せ下さい。ただし、寄贈の受け入れは「宜野湾市内在住」、もしくは使用していた場所が「宜野湾市内」だったという方に限らせていただきますのでご了承ください。



慰霊の日 写真パネル展

イクサユージュのーん

(戦世の宜野湾)

6月には、慰霊の日関連の企画展を行います。本企画展では、写真パネルをとおして沖縄戦の概要、宜野湾での戦況をふまえて県内に残る戦争遺跡を紹介し、戦争と平和について考えます。

沖縄戦において、宜野湾市でも多くの住民が尊い命を失い、本市の環境も大きく変容しました。沖縄戦終結から今年で68年が経過し、戦後世代が大半を占めるようになった今日、戦争体験者は減少の一途をたどり、戦争の記憶の風化が進んでいます。戦争は、二度と繰り返してはならないことであり、これらの事実を風化させずに語り継いでいくことが大切だと考えております。



6月19日(水)～6月30日(木)

・時間：午前9時～午後5時(入館は4時半まで)

・場所：宜野湾市立博物館

・入場料：無料

【宜野湾市の戦争遺跡】

宜野湾市内には、いくつもの戦争遺跡が残されています。その中でも、嘉数高台公園には旧日本軍が構築した陣地壕やトーチカといった戦争遺跡が残されています。

・陣地壕

嘉数に駐屯した日本軍は、嘉数高地を中心とした周辺地域にいくつもの陣地壕を築きました。陣地構築は1944(昭和19)年の夏頃から開始したようで、朝から夕方までの作業が毎日続けられました。兵士だけでなく、嘉数や周辺地域から、老人や女性を含む多くの人々がかり出されました。

壕は石灰岩をくり抜いてコの字型に構築され、側壁には落盤防止の杭木の跡もあります。嘉数高地には日本主陣地が置かれたため、こうした陣地壕がいくつも構築されました。

・トーチカ

トーチカとは元はロシア語で「点」を意味する軍事用語で、防御の中心となる陣地のことです。

このトーチカはコンクリート製で、厚さは最大1mあり、内部は2m四方、大人3名ほどが入れる広さです。北側(比屋良川)に向けて銃眼が2ヵ所開き、そこから小銃や機関銃などを出して、米軍を攻撃したと考えられます。トーチカには銃痕が無数にあり、正面の鉄筋がむき出しになるほど、激しい戦闘を物語っています。南西側の開口部は、兵士が出入りするのためのものです。



【関連講座】博物館市民講座 「戦争遺跡にみる沖縄戦」

■講師：吉浜 忍(沖縄国際大学教授)

■日時：6月30日(日) 14時～16時

■場所：宜野湾市立博物館

■定員：50名(要申し込み)

■受講料：無料

戦争遺跡は、戦争を語る「生き証人」であり、

「平和の語り部」でもあります。

県内に残る戦争遺跡を紹介し、沖縄戦について考えます。



毎年、はくぶつかんでは文化財に親しんでもらおうと、小・中学校と協力して「ぎのわんの文化財図画作品展」を行っています。今年も開催しますので、楽しんで描いていただけたらうれしいです。みなさんのすてきな作品を心待ちにしております♪
今回は、そんな文化財にまつわるお話を2つ紹介します。

ふてんまぐう 普天満宮

普天満宮は熊野権現という神様をまつる神社ですが、その由来となったとある伝説が残されています。

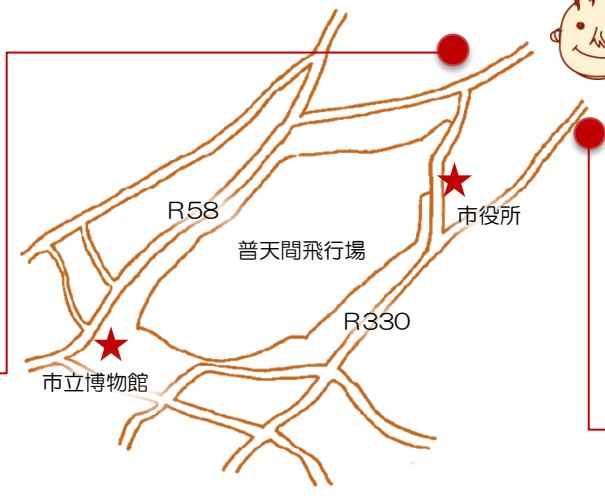
その昔、首里の桃原という村に美しい娘が住んでいました。評判は他の村にも伝わっていましたが、娘はどんなに良いお見合い話もことわり、家にもってひっそりと暮らしていました。

しかし、ある日、妹の夫に顔を見られてしまうと、娘は家を飛び出して宜野湾の普天満宮の洞窟に身をかくしてしまいました。妹夫婦はすぐに後を追いかけて洞窟の中を探しましたが、とうとう彼女の姿を見つけることはありませんでした。

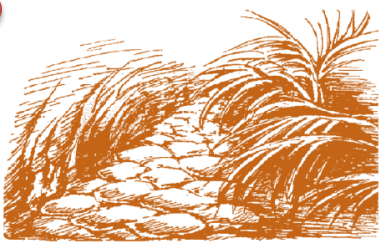
その後、人々は娘を洞窟の神様として、そこに社を建てました。これが普天満宮のうらにある洞窟であるとされています。



ふてんまぐう 普天満宮



キミは行ったことあるかな？



のだけ いしだみみち 野嵩の石畳道

のだけ いしだみみち 野嵩の石畳道

野嵩の石畳道は、首里王府時代に首里と各間切(間切：現在でいう市町村のこと)を結ぶ道として整えられました。かつては120メートルほどの長さがありましたが、今では40メートルほどの道になっています。敷石の表面はなめらかにすりきれ、歴史の古さを感じさせます。

この石畳道には、今から500年前の護佐丸・阿麻和利の乱(1458年)にまつわる言い伝えがあります。

阿麻和利の軍に負けた護佐丸は、妻とまだ幼い息子を中城から逃がしましたが、二人が石畳道を登り逃げるとき、追っ手が放った矢が彼女の着物の袖を引き裂いたそうです。

このことに由来して、野嵩の石畳道は「袖はなれ坂(スディバナビラ)」とも呼ばれています。

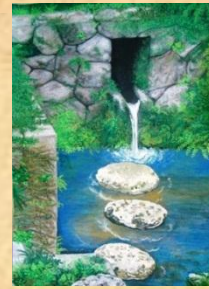
参考図書

宜野湾市教育委員会文化課『宜野湾市文化財保護資料第67集 ぎのわんの文化財 第七版』 2007年
長嶺操・徳元英隆『沖縄の伝説散歩』沖縄文化社 2004年



第 22 回ぎのわんの文化財図画作品大募集!

あなたのまわりにある^{ぎのわんし}宜野湾市の文化財^{ぶんかざい}を描いてみませんか?
^{わみず}湧き水・^{つなひ}綱引き・^{ししまい}獅子舞などなど、さがしてみよう!!



↑ 第 21 回教育長賞受賞 3 作品

- 対象：宜野湾市に住んでいる小学生 3～6 年生・中学生
- 画材：4 つ切り画用紙のみ。クレヨン・水彩・アクリル仕上げなど自由
- 出品：1 人 1 点のみ。作品は夏休み明けに、各学校の担任に提出してください。
- 作品展開催期間：平成 25 年 10 月 2 日 (水)～10 月 20 日 (日)
- 場所：宜野湾市立博物館 企画展示室


問合せ：宜野湾市立博物館 098-870-9317



スタンプコーナー あります

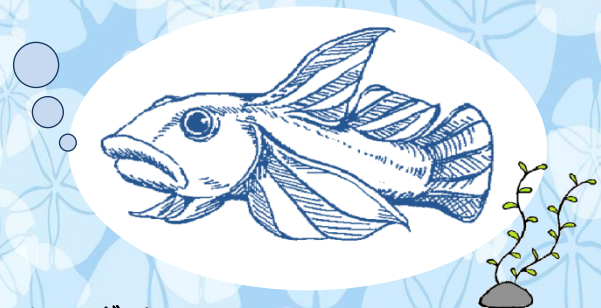
はくぶつかんを見学した記念にスタンプはいかが?
はくぶつかんのイメージキャラクター「^{てんにょ}天女ちゃん」と
^{ましきあざまばるいせき}真志喜安座間原遺跡から発見された「^{はつせん}蝶形骨製品」の
スタンプの 2 種類があるので、ぜひ押してみてくださいね♪



 ^{ましきあざまばるいせき}真志喜安座間原遺跡は、^{ぎのわんし}宜野湾市真志喜にある
2500～3000 年前の貝塚時代の遺跡だよ。^{はつせん}蝶形骨
製品はその名前の通り、ちょうちよが^{はね}羽を^{ひろ}げた^{かたち}形を
しているんだ。実はこれ、^{しゅこん}シュゴンの骨でできているん
だよ。アクセサリやおまじないの^{どうぐ}道具、^{おもり}お守りとして
^{つか}使われていたと^{かんが}考えられているけれど、^{ほんとう}本当のところ
はよく^わ分かっていないんだ。

はくぶつかんのお魚たち

はくぶつかんにいるお魚たちを紹介するよ!



ヨシノボリ

^{たいちようやく}体長約 5 cm の^かハゼ科の^{さかな}魚です。^{さゆう}左右の^{はら}腹びれ
が^あ合わさってひとつの^{きゆうばん}吸盤をつくり、それを利用
して^{かべ}壁や^{いわば}岩場を^{のぼ}登ることができます。

はくぶつかんにはお魚にちなんだ
水そうクイズもあるよ♪



夏の企画展

人びとのくらし ~子ども達の生活~



1964(昭和39)年



**7月24日(水)
~9月1日(日)**

入場無料!

1960~1980年代の「人々のくらし」を取り上げ、
当時の子ども達の日常も紹介します。

■場 所：宜野湾市立博物館

News!!

立体の大山式土器パズルができました。

博物館スタッフも大苦戦のあのパズルが、

ついに常設展示室に登場!!

ぜひ博物館で挑戦してみよう!!

ビギナー向け↓



さらに上を
目指したい方はこれ!

いつやるの?

今でしょ!!



〜ズかしいよ〜!!

※大山式土器・・・約3000年前の土器で、当時の人々が食べ物の煮炊きに使っていました。

1958(昭和33)年に宜野湾市にある大山貝塚で発見されました。



団体見学・社会科見学・出前講座のご案内



団体見学を計画されている方は、事前に電話または博物館窓口にてお気軽に職員にご相談下さい。その際は、次の事項を職員にお伝え願います。

- ・団体名、代表者名
- ・見学者数（大人・子どもの人数）
- ・見学の日時
- ・申し込みの目的（授業、調査など）
- ・常設展の見学ガイドは必要か

※ガイドが必要な場合、ご連絡は 2 週間前までにお願いいたします。



当博物館では、小学校の社会科見学の際に、昔の道具に実際に触れながら体験できる「昔の道具体験」を行っています。見学するだけでなく、子どもたちに直接見て・触れてもらうことで、より楽しくイメージしやすい学習内容になっています。

また、博物館に行きたいけれど団体で行くための移動手段がない、時間的に難しいという学校のために、博物館職員が学校に出向いての出前講座（注：市内の学校対象）も行っていきます。事前の打ち合わせが必要になりますので、お早めにご相談下さい。



多くの皆様のご利用をお待ちしています☆



平成 25 年度・博物館職員紹介



館長：比嘉 悦子

日頃より宜野湾市立博物館に深いご理解をいただき、ありがとうございます。

昨年の今頃、私自身も博物館の新職員として紹介されましたが、就任して 2 年目を迎えることになりました。平成 25 年度は 2 人の新職員を迎えました。いずれも博物館での仕事は初めてですが、慣れるのが早く、すでに強力な博物館職員として活躍しています。

本年は沖縄県公文書館との共同企画展など、昨年よりも多数の展示会が企画されています。全職員一体となって新年度の事業に取り組んでいきたいと思っておりますので、皆様の変わりぬご支援をお願い致します。

NEW!

主任主事：安次富 尚金

こんにちは。25 年度 4 月より、宜野湾市立博物館勤務となりました安次富と申します。小さいころより歴史が大好きでしたので、博物館勤務となったことに感激しております。専門的な知識は不十分ではありますが、広報等を通して、博物館の魅力を皆様に発信したいと考えております。市民講座で皆さまとコンタクトハンタクのひと時を過ごせることを心待ちにしております。

NEW!

住民票等交付臨時職員：伊波 菜々子

今年度の 4 月から住民票等交付を担当させていただくことになりました。博物館で働くことができ、とても嬉しく思います。博物館のメンバーでは最年少で分からないことだらけですが、一つ一つ着実に仕事を覚えて頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。常設展や企画展、市民講座、図書室のご利用等々、皆様のご来館をお待ちしております。

- 比嘉 悦子【館長】
- 平敷 兼哉【学芸係長】
- 安次富 尚金【主任主事】
- 武智 方寛【学芸担当嘱託員】
- 福原 りお【学芸担当嘱託員】
- 松山 達志【学芸担当嘱託員】
- 高江洲 比力理【住民票等交付臨時職員】
- 伊波 菜々子【住民票等交付臨時職員】



宜野湾市立博物館

平成25年度の年間行事カレンダー

- * 企画展・特別展は、『無料』にてご覧できます。
- * 行事の予定は、変更する場合がありますので、開催前に博物館ホームページなどで詳しい内容をご確認下さい。

展示会

市民講座

【企画展】 5月22日(水)～6月9日(日)

『新収蔵品展 ～平成23・24年度受入資料～』

平成23・24年度に博物館で受け入れた資料を展示します。

【慰霊の日・写真パネル展】6月19日(水)～6月30日(日)

『イクサユーヌじのーん(戦世の宜野湾)』

沖縄戦について、宜野湾を中心に写真パネルをとおして戦争と平和について考えます。

【夏の企画展】 7月24日(水)～9月1日(日)

『人々の暮らし ～子ども達の生活～』

人びとの暮らしの中でも子ども達に焦点をあてて、生活や遊びを紹介



【共同企画展】 9月11日(水)～9月29日(日)

『資料にみる宜野湾市の戦後』

沖縄県公文書館と宜野湾市の戦後資料をとおして歴史をたどりながら、地域への理解と愛着を高める展示会。

【学校との共同企画展】 10月2日(水)～10月20日(日)

『ぎのわんの文化財図画作品展』

市内在住の小学校(3～6年)、中学生が描いた宜野湾市内の文化財を紹介します。

【秋の特別展】 10月30日(水)～12月8日(日)

『近代沖縄と宜野湾』

明治から昭和戦前期の宜野湾の歴史について紹介します。



【文化財企画展】 12月20日(金)～1月26日(日)

『文化財企画展』

宜野湾市内の遺跡の発掘調査の成果を紹介します。

【地域との共同企画展】 2月5日(水)～3月2日(日)

『ぎのわんの“字”展 ～我如古編～』

博物館と地域との共同で行う企画展。25年度は“我如古”の歴史・文化を紹介。故郷の大切さと温かさを感じる展示会。

① 戦争遺跡にみる沖縄戦

講師：吉浜 忍(沖縄国際大学教授)

日時：6月30日(日) 14時～16時

② トートーメーの話

講師：波平 エリ子(沖大・沖国大非常勤講師)

日時：7月28日(日) 14時～16時

③ ウタキめぐり 【野外解説会】

講師：新垣 義夫(宜野湾市立博物館協議会長)

日時：8月25日(日) 13時～16時

④ 映像にみるアメリカ世

講師：新里 勝彦(元琉球放送カメラマン)

日時：9月29日(日) 14時～16時



⑤ 王府おもしろと宜野湾

講師：比嘉 悦子(宜野湾市立博物館長)

安仁屋 眞昭(王府おもしろ伝承15代)

日時：10月20日(日) 14時～16時

⑥ 近代の足あとを訪ねて 【野外解説会】

講師：平敷 兼哉(宜野湾市立博物館学芸係長)

日時：11月10日(日) 13時～16時

⑦ 沖縄伝世の古衣装について—15世紀の服飾—

講師：植木 ちか子(国際服飾学会元理事)

日時：12月15日(日) 14時～16時



⑧ 宜野湾市の発掘調査の成果と課題

講師：呉屋 義勝(宜野湾市教育委員会文化課長)

日時：1月26日(日) 14時～16時

⑨ めぐてい！イガルーシマ—我如古編—【野外解説会】

講師：平敷 兼哉(宜野湾市立博物館学芸係長)

日時：2月23日(日) 13時～16時

【親子で参加！自然観察会】

講師：佐々木 健志(琉球大学風樹館)

日時：8月10日(土) 9時～12時

定員：15名



■ 開館時間：9時～17時(入館は16時半まで)

■ 休館日：毎週火曜日・年末年始(12月29日～1月3日)
祝日(文化の日は除く)

※ 火曜日と祝日が重なった時は、翌日の水曜日にも休館です。
その他、臨時休館になる場合もあります。

問合せ 〒901-2224 宜野湾市真志喜1-25-1

TEL：098-870-9317 <http://www.city.ginowan.okinawa.jp>

【社会科見学*出前講座】

当博物館では、見学だけでなく学校の授業に合わせた体験学習や、博物館職員が学校に向いての出前講座も行っています。どちらも、事前の打合せが必要になりますので、早目にご連絡下さい。



